

# 中小企業家同友会が全国大会 経営課題 解決策探る

鹿児島市



中小企業が直面する経営問題について解決策などを報告する中小企業問題全国研究集会の分科会＝16日、鹿児島市

第47回中小企業問題全国研究集会が16日、鹿児島市の城山観光ホテルで始まった。全国から約1200人の経営者が参加し、13分科会に分かれ、人口減少問題や持続可能な企業

づくりなど、中小企業が直面する経営課題についての解決策などを報告した。17日まで。中小企業家同友会全国協議会が主催した。鹿児島での全国大会開催は2002年に続き

2回目。いずれの分科会もグループ討議があり、参加者は議論を通じて学びを深めた。人口減少社会についての分科会は、シティライン（福岡県志免町）の田浦通社長が登壇。経済が縮小する中、競争優位性のあるサービス開発が不可欠と説いた。自身が経営する配送業で、雑貨から専門性が求められる医療品の取り扱いを増やして高付加価値化を進めた事例を紹介した。

鹿児島県からは、さかうえ（志布志市）の坂上隆社長が農業分野でいかに活路を見いだ

すかをテーマに、自身訴えた。17日は全体会と分科会報告のほか、記念講演があり、窪田織物（鹿児島市）の窪田茂社長が大島細業界での挑戦について語る。（高橋祐紀子）

2 加 の 体 少 16 駐